

10月16日は「辞書の日」

校長 大谷 慎也

薄の穂が開き、夕暮れ時の虫の音に秋を感じる頃となりました。過日実施いたしました体育祭におきましては、当初予定に変更があり、たいへんご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございませんでした。順延となりましたが、19日(水)には、御来賓、御家族の皆様、地域の皆様、多くの方々に御来校をいただくとともに、温かい御声援をお送りくださり、ありがとうございました。心から感謝を申し上げます。お蔭をもちまして、無事終了することができました。体育祭実行委員会が掲げたスローガン「不撓不屈～魅せろ！我らの木崎魂～」をもとに、躍動感と達成感のある体育祭を創り上げることができました。3年生の示した牽引力と実行力は、1・2年生にとりましても、今後の学校生活全体の意気をさらに高めるものと期待しております。

いよいよ秋本番です。10月8日の「体育の日」をはじめ、10月27日から2週間に渡る「読書週間」など、「〇〇の秋」にふさわしい行事が様々に行われます。現在、「体育の日」は、平成12年からいわゆる「ハッピーマンデー制度」により「10月の第2月曜日」となりましたが、私には、昭和39年10月10日に開催された東京オリンピック開会式を記念日とする「体育の日」が馴染んでいます。また、「体育の日」のように知られていませんが、10月16日は「辞書の日」です。アメリカの辞書編纂者であったノア・ウェブスター(1758年～1843年)の誕生日を記念して定められました。弁護士を目指していたウェブスターが学生の頃のアメリカは、独立戦争の真最中です。大学卒業後、経済的に余裕がなく、ロー・スクールに通うことができず、教師として学校に勤めます。その経験の中で、小学校が好ましくない環境にあることを痛感しました。まず、校舎にひとつだけの教室の中に学齢が異なる70名以上の児童が学んでいることです。次に、教科書の数が不足し、イギリスの教科書を使用していることです。そこで、アメリカ人はアメリカの教科書で学ぶべきであると考えました。そして、綴字法・文法・読本の3冊を作ります。特に、綴字法の教科書は、その後100年を超えて広くアメリカで使用されました。アメリカに愛国心を燃やすウェブスターは、43歳の時に辞書の編纂を始めます。当時、綴りや発音、語法がそれぞれの地域によって違いがあり、アメリカ英語の標準化を目指しました。調査や編集に幾年月を経て、ウェブスターが70歳の時、『アメリカ英語辞書』が出版されました。収録数は約70,000語、スカンクなどのアメリカ独自の動植物に関する単語も収録されました。さらに、12年後には、第2版を出版しました。現在、ウェブスターという名称は、辞書の代名詞のように扱われることもしばしばあります。こうして、初期のアメリカで教科書や辞書を編纂したウェブスターは、アメリカ人としてアメリカの人々のための教育に全身全霊をささげた人物として讃えられることとなります。今では様々な辞書がありますが、それぞれに編纂の苦労と意義が詰まっています。

2学期が始まり1か月が過ぎようとしています。いよいよ1年間の後半に入ります。9月25日の硬式テニスを皮切りにさいたま市中学校新人体育大会が開催されています。3年生を範として、1・2年生が木崎中生としての誇りを胸に、あいさつやマナーは勿論のこと、各試合に持てる力を存分に発揮することと期待しています。保護者の皆様、地域の皆様、一人ひとりの生徒が皆様のお声掛けや見守りにより、日々心豊かにたくましく成長しております。今後とも、御支援と御協力をお願い申し上げます。